



# スキー協通信

No.395

発行

2017.6.1

発行責任者・出崎福男

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03(3971)4144

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org

ゆうちょ銀行口座：00110-7-88004 東京都勤労者スキー協議会

## ビューティフル トレース



八甲田山

鳥海山 (七高山)



5月GW 山スキー教室

### 目次

リレーエッセイ「雪紋」／スキー100年誌プレゼント当選発表	2頁
第6回理事会報告	3頁
5月GW 山スキー教室報告「八甲田山」「鳥海山」	4・5頁
かぐらスプリングフリーレッスン報告／反核平和マラソン案内	6・7頁
Information／6・7月のカレンダー	8頁

# 新しい取り組みをすすめ、 これからのスキー協を

リレーエッセイ

# 雪紋

東京スキー協 副会長 福島 明

少雪でスタートした2016-17シーズンでしたが、1月の中旬以降の順調すぎる降雪で、先シーズンの「くやしき」を倍返しできた方も多かったのではないのでしょうか。4月の第2週までは志賀高原もご機嫌な雪質で、「本当にシーズンは終わるの？」と錯覚もしましたが、時計はちゃんと回り、下界は30℃を超える日が出てきています。

私が担当させていただいている「教育技術局」では、この1年間に「指導員ミーティング」や「スキー協行事での若手講師のデビュー」などなど新しい取り組みを行って、大きな成果を作ってきました。それらのまとめとこれからの1年間の活動方針を作り終え、いまはその具体化にすでに取り組みだしてきています。シーズン中も忙しかったのですが、オフになった今のほうがやる事が多くバタバタしています。「オフになったばかりなのに、もう始まっているんですか！」とびっくりされるかもしれませんが、教育技術局は「早く、速く！！」というスローガンでこの1年を進めてき

ていますので、その有言実行です。

「教育技術局」の取り組みは、「技術」をキーワードに指導員を含む会員の結びつきを強めるものと考えています。したがって、その究極はスキー協という組織、それを構成するクラブを人員的にも運営的にも大きくすることです。スキーという専門性をもったクラブですので、「クラブの運営や組織人数」ということと「スキー技術のレベルアップ」という車の両輪が同調してうまく回っていかないと、その車はどんどん曲がってしまいます。

東京スキー協の組織的な力量のダウンを一刻も早く止め、V字型の回復が望まれています。教育技術局も東京スキー協を構成する一つの局として「車の両輪が同調するように」さらに頑張っていきたいと考えています。

## 「スキー100年誌」プレゼント、当選のお知らせ（広報局）



通信392号（3月号）でお知らせした「スキー100年誌」プレゼントに、2名の応募がありました。5月23日に抽選を行い、森島宏さん（シュプールSC）が当選されました。クラブ内やスキー仲間でシェアしてご活用いただければと思います。

なお、スキー協事務所に閲覧用に1冊用意しています。持ち出しはできませんが、事務所に来られた際は、一言声をかけていつでもご覧ください。

市川会長にお手伝い頂き、抽選を行いました。



# 理事会報告

第6回理事会 2017.5.18 (木)

第6回理事会が、東池袋第4区民集会室において開催されました。総会を前に、おもに49期の報告と50期の方針について、49期の運営状況について話し合われました。

(出席 37人中、17人)

## 【総会資料、報告・方針の内容について】

### 4大行事について

- ・4大行事の収支はどうだったのか？ =>テクニカルフェスタについては23万程度の黒字。越年スキーは赤字。他の行事については総会資料として現在作成中。
- ・人数が大幅に減ったり、赤字が出た行事の原因はなにか。次回の目標や対策はどうなっているか。

### 行事の在り方について

- ・テクニカルフェスタのような技術向上の行事を増やしてほしいという声がある。シーズン後半編もあるとよい。参加者数確保が難しいなか、大きなクラブとの合同でバス行事を行ってはどうか。
- ・情報の共有が大事。山スキーでは県やブロックの情報を会報からリストアップしたり、HPを活用して情報を共有している。お互いに参加しあい、エール交換や情報交換を行っている。
- ・スノージャンボリーの位置付けや目的を考える必要がある。技術系のレベルアップや、中高年向けのレベルアップ、ネトロンを使ったポール入門のレッスンなど、検討の余地がある。日中はクラブで自由行動でもいいので、バスや宿は同じにして夜は交流会をするなど、人数集約の工夫も。中高年向けのレベルアップ開催もよいのでは。

### 傷害保険・事故報告について

49期報告で「事故に対する補償を適切に行ってきた」とあるが、50期方針のほうでは「事故・怪我の報告があがってこない実態がある」とある。

矛盾していないか。保険と事故報告、それぞれの書類入手や手続きの説明をわかりやすく明記する必要がある。(書類提出のお願い文等も、怪我をした人、行事責任者、誰に向けたものかわかるようにしてほしい)

### ジュニア委員会、ウィークデースキー委員会

49期報告において、取り組みができませんでした、活動はできませんでした、とあるが、理由や言い訳はないのか。50期は現実的な方針を。

## 【その他】

### 総会の議事進行・討議の仕方について

- ・各部局・委員会、実行委員会の方針は司会ではなく、それぞれの当事者が報告したらどうか。総会全体に抑揚が出て、聞いている人にも伝わりやすいのでは。
- ・クラブの1年の報告は時間もかかりきりが無いという意見もあるが、実際の活動の詳細は大事なことではないか。  
=>総会の討議について、テーマを決めるのか、分科会を持つかなど、検討する。(当通信、Informationを参照ください)

### 理事会の招集について

理事会開催のメール通知が1週間より前に来ることがない。直前通知だと行けないこともある。もう少し余裕をもって通知すれば出席率も上がるのでは。

### ホームページについて

クラブの行事予定の更新をこまめにしてほしい。  
=>ここ何年かは、情報収集のPR不足だったので通信や理事会等で定期的に情報を募る。引き続き情報を寄せてほしい。(掲載はクラブの意志に依るので、広報局で会報等からピックアップして載せるようなことはしていないが、今後は方法も検討)

- 持ち帰り案件について四役、常任理事会で引き続き討議し、50期の方針、計画として総会に臨みます。

# 5月GW 山スキー教室報告①

## 3日間、好天の八甲田



**5月3日** 予定の集合時間より早く参加者全員集合、11時から教室開始。本日は夜行で到着の人もいるので猿倉岳のピストン。

天気は良く風もなく快調、雪は平年並みで、ここ数年より多い雪で、登るのが楽で難なく山頂に到着。猿倉尾根を樹間の広いところを選んで滑走するが、あっと言う間に猿倉温泉に到着。温泉につかって料理に舌鼓を打って八甲田初日を堪能。



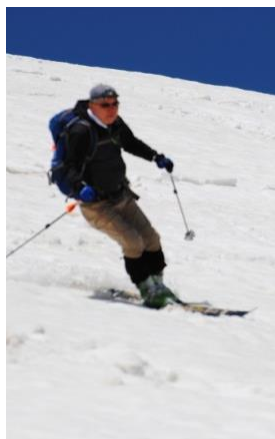
**4日** 睡蓮沼から仙人岱ヒュッテを經由し大岳、小岳から猿倉温泉に滑り込む

天気も良く暖か、大岳の山頂まで雪がついていた。大岳の火口の反対側には登山者が多数いるが、こちら側には途中1パーティーに合ったのみで貸切状態。緩んだ雪だが山頂から小岳の鞍部まで一気に滑り降りる。誰もいない斜面を自由に滑降。小岳の登りもアツと言うのだが、ガイドツアーの一行と前後して山頂到着。小岳の斜面はクラックを避けて滑降、此処も人がいない斜面を滑走、猿倉温泉に出る道中もガイドツアーの一行と前後する。小沢をいくつか越えて無事猿倉バス停に到着。

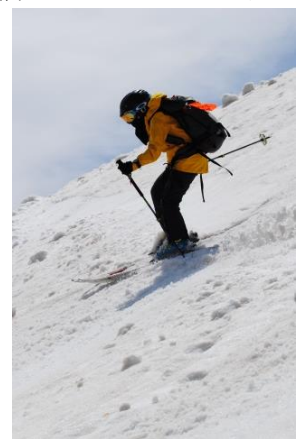


**5日** 今日は午前中のみ行動、猿倉温泉から矢櫃橋を經由して乗鞍岳。山頂よりピストン。

雲が若干あるが天気は良くぶなの林をシール登高、矢櫃橋より登りがきつくなるが、予定通り11時前に山頂到着。小休止の後乗鞍の大斜面を一気に滑降。樹林帯をトラバースして往路と合流、矢櫃橋までは快適に滑るが、矢櫃范付近は滑りが悪く疲れる。そこが終わるとぶなの林の中を快調に滑降。予定の時間12時に猿倉温泉に到着。

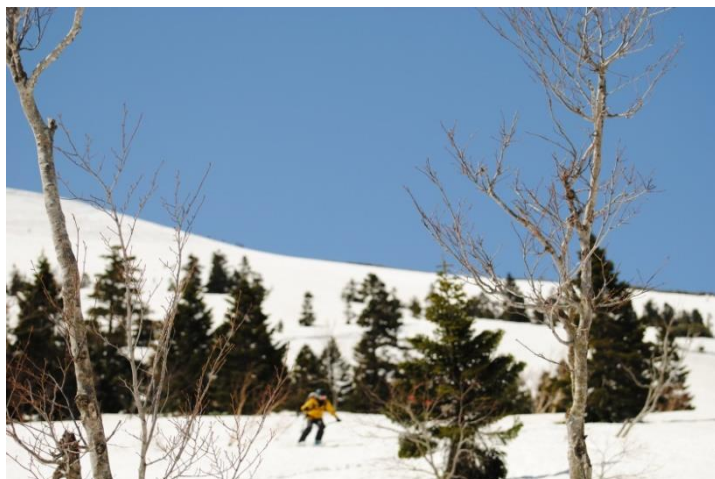


事故も怪我もなく無事終了。今回は例年より1日少ない行程であったが、天気に恵まれ予定を全て行い、雪も多かったので満足した行事であった。



教室参加者 3名

リーダー吉田・サブリーダー小川 吉田 記



## 5月GW 山スキー教室報告②

# 全員山頂へ

山頂から熊野森（5キロ弱（猿倉口））  
滑降を楽しむ

4日 天気予報の晴天率100%。駐車場は満杯で登山口へ入るのに苦労するが何とか祓川の駐車場から登山口へ。山頂へは多くの方が向かっていく。9時20分頃、七ツ釜避難小屋を通過。標高2000メートル付近で山頂へ向け英気を養うため休憩（11時）。ここらあたりから急斜面となる。



七高山山頂



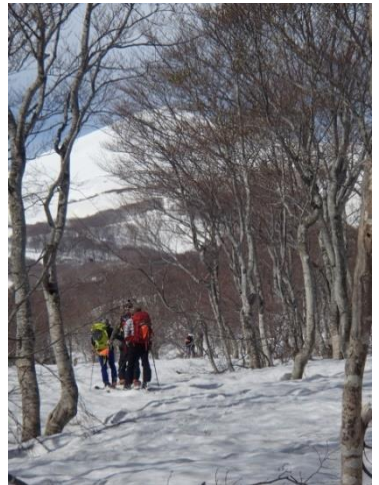
12時。鳥海の外輪（七高山2229メートル）へ全員登頂。昼食・休憩。新山へ行く者も。

12時45分 山頂からの出だしは少々急であるが、思い思いにシュプールを刻む。斜面が広い。登りあれだけの人がと思ったが、気にならない。下るにつれ、我々だけの斜面では、と…。

スキー協グループは、熊野森（猿倉口）へ、14時25分。下山口（熊野森）に。5キロ弱、滑りきった1日でした。

3日は足慣らしで標高2000メートルまで、お花畑駐車場へ。

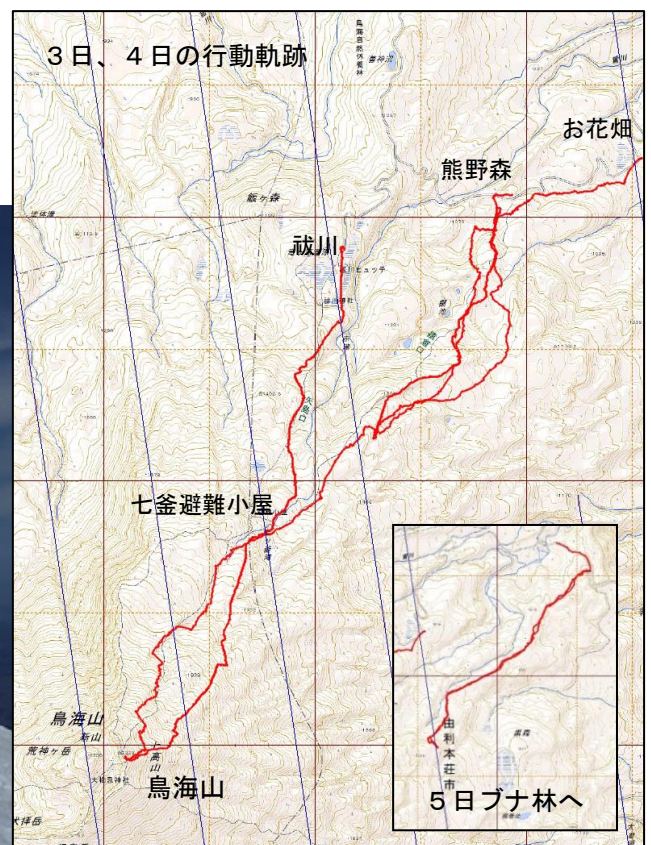
5日最終日。ブナ林散策へ。今年登山口から上は、まだ芽吹きには早かった。



ブナ林を歩く



滑る



# 満員御礼！

## かぐらスプリングフリーレッスン 2017/5/13～14

講師は、昨年の技術選優勝者で、二ノックススキースクール校長の吉岡大輔さん。募集 15 名のところ、満員御礼！ 男性 6 人、女性 9 人の参加。

土曜の午前中は雨…。駐車場やレストハウス、ゲレンデも、この時期とは思えないほど空いていたのはラッキー！ 前の人々が 4 ターンくらいしたら出るかたちで、人数のわりにスムーズに進行。吉岡さんは、コメントをしながら次の人の滑りも見ていて、レベルにあった個別アドバイスでフル回転していました。さすがプロ。

宿に帰って、吉岡さんが撮ってくださったビデオを使いミーティング。ていねいな個別アドバイスを受けました。夕食時は、初参加の女性グループのテーブルが吉岡さんを囲んで盛り上がっていました。夕食後にもまた、吉岡さんを囲んでミーティング＋交流会。



2 日目にもビデオを使い、解散前に最終チェック＆個別アドバイス。外脚での捉え、板をたわませることの大切さ、運動のコーディネーションなどを、様々なバリエーションを使って習得しました。指導員としても、吉岡さんの「ポイントを指摘しつつ、ほめて伸ばす。」ところを学びたいと思いました。（まだ、「憧れ」の段階かも；）

今回、他県からの参加者とも交流し、素晴らしい滑りも魅せていただきました。

宿泊先の「ロッジ・サンモリッツ」は食事も良く、温泉がいつでも入れて最高！でした。（担当：末広）

### ～ 参加者の感想 ～

毎週水曜日配信される FaceBook の有料コンテンツ「吉岡大輔オンラインサロン」（全 15 回）で、動画と説明を見て滑り自体は当然ですが、滑りに対する考え方や分かりやすい説明にあこがれていました。今回は、リアルに本人の滑りを見て説明を聞けるチャンスということで申し込みました。外脚での捉え、板をたわませることの大切さを改めて学びました。自分も技術選に参加し始めたこともあり、個別にその視点でのアドバイスを受けることができ本当に良かったです。競技スキー委員会の皆様、来年もまたぜひこの企画を期待しています！（埼玉県スキー協 岡田章男さん）

GW 期間中、教程撮影に参加している時に今回の吉岡大輔さんのレッスンの話を伺いました。A 氏「俺申し込んだよ！」B 氏「俺も参加したい！」森「じゃあ俺も・・・」A 氏 B 氏「どうぞ！どうぞ！」でな感じで参加に至りました。それは冗談として（笑）・・・日本で 1 番上手いスキーヤーの滑りを間近で見られて、さらに教えて頂けることなどそうそうないので期待に胸を膨らませて参加しました。成果は期待以上。吉岡さんの親切で分かりやすい説明はたいへん勉強になりました。足場の悪い春雪でも、外脚でしっかり雪面を捉える、外傾姿勢の重要性を再確認しました。それは現在制作しているスキー協の新教程にも通じているところです。企画運営に奔走していただいた東京スキー協の皆さん、ありがとうございました。来年もまた参加したいと思しますので宜しくお願いします。（栃木県スキー協 森康夫さん）

今回行事案内で吉岡大輔コーチの名前を見て、ミーハーな私はクラブ仲間を誘って参加しました。吉岡さんは写真ではがっちりとした四角いイメージでしたが、実際はすらっとした引き締まった体で、やはりアスリートだなあという感じを受けました。最初コーチからレーシングという言葉が出たので「ポールレッスンではないと書いてあったけど、レーシングもやった事がない。どうしよう！」と思いましたが、カービングスキーの基本となり実践にもつながるトレーニングだったので参加して良かったと思いました。

山開きシステムでスキーを開き出し早い段階での切り替えと腰から遠ざけたスキーをたわませ、力(圧力)を余すことなくスキーに伝える合理的な滑りでした。4月は小回り、コブ、不整地(山スキー)を滑っていたので外向傾姿勢が強くなりがちで戸惑いましたが、シーズン中の滑りを思い出し、スキー板に正対して、外足にしっかり乗りターンを最後まで仕上げる事に注力しました。

コーチの滑りを確認する場面では、みなさんがスマホ等で動画を撮ったり、レールのようなシュプールを撮るほどのオタク級の熱の入れよう。コーチの滑りを後ろからだけでなく、中間地点で下から・横から・後ろからプロの滑りを間近に見て、思わず「おお～」と声が出てしまいました。

シーズンが終わりに近づいて課題の壁を乗り越えられなかった私には、楽しくて心と技術的にもパワーをもらえた有意義な時間でした。私のスキーシーズンは、まだまだ続きますが、来シーズンもまた参加したいです。吉岡コーチありがとうございました。レベルアップして再会できるよう、頑張ります。

(モルゲンローテ S.C. 土方さん)

## 新日本スポーツ連盟 HP より

新日本スポーツ連盟は「スポーツは平和とともに」をスローガンに、スポーツ界から平和を求める声を上げる運動に取り組んでいます。1982年、大阪からはじまった反核・平和マラソンは、現在20都府県以上で開催され、スポーツ愛好者のユニークな平和運動として定着してきました。

被爆国のスポーツマンとして今、福島原発事故による苦い教訓を今後どのように生かすのが鋭く問われています。反核・平和マラソンは、核兵器廃絶と平和を訴えるピースランです。世界から核兵器をなくしていくための草の根の運動に、ぜひ参加してみませんか。

東京 ◆ 7月22日(土)

夢の島～代々木公園／大田区役所～代々木公園／北区役所～代々木公園／杉並～中野～代々木公園

東京開催についての詳細=> <http://www.njsf.net/zenkoku/event/6980/>

## 東京スキー協 第50回定期総会開催案内

下記日程、会場で第50回定期総会を開催します。この1年の活動を振り返り来期の方針を確立する大切な場です。各クラブの活動を持ち寄り、交流を深め、有意義な総会としていきましょう。

日程：2017年6月18日（日曜） 午前10時開会予定

会場：豊島区 帝京平成大学池袋キャンパス内集会室

豊島区東池袋二丁目51番4号（JR池袋駅から徒歩約15分）

注意：入口は大学の建物の北側。階段を下りた地下1階に集会室があります。

今回の総会では、方針論議を深めるために集中討論の時間を設定しました。参加される皆さんの活発な発言をお願いします。1テーマあたり30分程度を予定しています。

テーマ1：会員拡大のために必要なことは何か

テーマ2：会員の高齢化に伴いもとめられること

テーマ3：技術向上の重要性と指導員の役割

### クラブの機関誌を定期総会に持参ください (組織局)

6月に開催される東京スキー協第50回定期総会に、各クラブが発行している機関誌（会報・通信）を持参してください。機関誌を通して交流を行い、掲載されている活動状況を共有し合って、スキー協とクラブの今後の活動に役立てて頂きたいと思えます。

部数は規定しませんがたくさんのかたが手に取って閲覧できるよう、ご協力をお願いします。



## 乗鞍担ぎ上げレーシングキャンプ！！ 2017/7/14-16

詳細⇒ [http://www.tokyoskikyo.org/iinkai/kyougai/images/pdf/2017\\_norikura.pdf](http://www.tokyoskikyo.org/iinkai/kyougai/images/pdf/2017_norikura.pdf)

### 6・7月のカレンダー

6/1	東京常任理事会	7/6	東京常任理事会
6/6	山スキー委員会	7/8-9	乗鞍サマーレーシング（全国）
6/15	スキーメイト発行	7/15-16	乗鞍サマーレーシング（東京）
6/10-12	全国代表者会議	7/11	広報局会議
6/18	東京スキー協総会	7/22	反核平和マラソン（新日本スポーツ連盟）
		7/25	通信発送、総務局会議

※お詫び： 手違いがあり、最終版ではないものが郵送されています。カレンダーはこちら↑を参照ください。お手数をおかけいたします。

### 編集後記 エビノシippo

日本ほど多様な雪を楽しめるところはないだろう。11月から7月、四季の変化を味わいながら。6月、総会です。安全に（ヘルメットの話ではない。社会に生きるという大きな意味で）、そして楽しくスキーができる社会を。物騒な法案が通されようとしている。戦前の日本が顕在化してこなければいいが…（Osabe）